

# お知らせ

## 8月1日からは 「新しい国保の高齢 受給者証で受診を」

現在お持ちの国民健康保険高齢受給者証の有効期限は7月31日までです。8月1日以降にご利用いただく受給者証(肌色)は、国民健康保険証と同じようにカード型に変わります。保険証は7月中旬以降に送付しますので、新しい受給者証を受け取られたら、各欄の記載事項の確認をお願いいたします。また、現在お使いの受給者証は8月になったら、各自で確実に破棄してください。

「診査受診券」が必要となります。対象となる人には、健診の集中を防ぐため、6月と9月の2回に分けて受診券を送付させていただきます。送付する内訳は次のとおりです。

- ◆1回目(6月に送付した人)  
今年度40～44歳、50～54歳、60～64歳、70～74歳になる人
- ◆2回目(9月に送付する人)  
今年度45～49歳、55～59歳、65～69歳になる人

※9月に送付する予定の人で、10月までに特定健康診査の受診を希望される人は、受診券を発行しますので、保険医療課までお申し出ください。

※高齢受給者証は70歳から74歳までの長寿(後期高齢者)医療の被保険者でない人を対象に交付される証です。

## 40歳以上の国民健康保険加入者のみなさんへ

特定健康診査の対象となる人は2回に分けて「特定健康診査受診券」をお送りします。

7月から長浜市国民健康保険の特定健康診査が始まります。特定健康診査を受診するには「特定健康

特定健康診査は、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームの危険性のある人を早期に発見し、生活習慣病を予防・改善するうえで重要なものです。受診券に同封した案内文書をご覧ください。集団健診又は医療機関健診のどちらかで、受診券と保険証を持参のうえ、必ず受診してください。

お問合せは、保険医療課(☎512)へ。

## 在宅しょうがい者の 社会参加を援助します

在宅でしょうがいのある人に、社会参加支援を目的として、援助金をお渡しします。対象は、平成20年4月1日現在で、次のいずれかの要件に当てはまる75歳未満の在宅の人です。

- ①1、2級の身体障害者手帳の交付を受けている人
- ②療育手帳の交付を受けている人
- ③1、2級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人

※今回初めて対象となる人は申請が必要です。(昨年度受給されている人は、名前、住所、施設への入所状況、振込口座に変更があった場合のみ変更届を提出してください。)

【支給額】 年額1万2千円(今年度から変更しています)  
【受付期間】 7月1日(火)～18日(金) ※土日除く  
【持ち物】 交付を受けている手帳、しょうがい者本人名義の預金通帳(ゆうちょ銀行以外)、印鑑

■受付窓口 福祉課(本庁東別館1階) ☎6518  
浅井支所市民福祉課 ☎74352  
びわ支所市民福祉課 ☎75253

## 紙おむつ等購入費助成と理美容サービス ご利用ください!

寝たきり等の高齢者のみなさんに気持ちよく過ごしていただくために、紙おむつ・おむつカバーの購入費の助成券(2万7千円分を年2回)の交付と自宅訪問での理美容サービスを実施します。

【対象】 平成20年1月1日から6月30日までのうち3か月以上在宅で生活されていた所得税非課税世帯の人で、次の①から④のいずれかに該当する人。  
①平成20年1月1日時点で介護保険法による要介護4または5の認

定を受けている人。 ※紙おむつ購入費助成は要介護3の人も対象  
②平成12年3月末まで高齢者介護激励金の対象者であった人  
③特別障害者手当受給者  
④福祉手当受給者

【受付期間】 7月1日(火)～31日(木)  
■受付窓口  
高齢福祉介護課(☎7789)  
浅井支所市民福祉課(☎74352)  
びわ支所市民福祉課(☎75253)

み、石と尿と一緒に自然に排出されるのを促します。痛みには鎮痛剤などを処方し緩和します。それ以上の大きさで痛みがひどい場合などは、別の治療法を用います。ひと昔前までは、メスで腎臓や尿管、膀胱を切り開き石をつまみ出す方法で治療を行っていましたが、最近では、内視鏡で石を砕いたり、つまみ出す方法や、衝撃波を石に当て砕き、砂状にして尿と一緒に体外へ排出するという体外衝撃波結石粉砕法がとられるようになってきました。体外衝撃波結石粉砕法では、電磁誘導方式という方法で衝撃波を発生させ、これを収束させて一点に集め、結石に当てて粉砕します。身体に対する悪影響が少なく、症状が軽い人は入院や麻酔をしなくても行える画期的な治療法といえます。

## 最新の体外式衝撃波結石破碎装置を導入

市立長浜病院では、4月に新世代の結石粉砕装置を導入し、運用を開始しています。新しい装置は、患者さんが仰向けに寝ているだけで治療が受けられるようになり、治療における負担が大幅に軽減されています。また、高画質X線システムにより、以前は見えにくかった石がはっきりと画面に映し出されることで、より安全な治療が行えるようになりました。



おしっこが出にくい、おしっこに血が混じっている、腰の左右が痛い原因がわからないなどといった症状をお持ちの人がおられましたら、一度泌尿器科で受診されることをおすすめします。

それを毒物の一種と認識し、毒素を介してアセトアルデヒドに変わり、これが、吐き気、頭痛や脈の乱れを起こします。肝臓にアルコールが入ってくると脂肪の合成が促進され、分解が抑制され、脂肪が肝臓にたまりやすくなります。これがアルコール性脂肪肝です。さらに飲み続けると肝臓はやがて腫れあがり、働きも低下し壊死が起こります。これがアルコール性肝炎です。肝硬変は肝障害の終末状態で、こうなると断酒しても肝臓は元には戻りません。少量のお酒でも毒となります。腹水、食道静脈瘤などの合併症も出現してきます。アルコールに対する反応は個人差が大きいです。大酒家といわれる人の10～30%がアルコール性肝硬変を発症するといわれています。古くからお酒は百薬の長といわれていますが、何よりも適正飲酒が大切です。

# お元気ですか

## 尿路結石の基礎知識

— 衝撃波による画期的な治療法 —

### 尿路結石とはどんな病気?

腎臓でつくられた尿は、尿管、膀胱、尿道を通過して体外へ排出されます。この尿の通り道を尿路といい、尿路のどこかに石ができてつまってしまう病気が「尿路結石」です。石ができると、尿の流れを妨げて腎臓が腫れるために、激しい痛みを起したり、血尿が出たりすることがあります。尿路結石は10人に1人がかかるといわれるほど多い病気で、少し前までは男性の病気と考えられていましたが、更年期を過ぎた女性もかかりやすく、最近は若い女性にも増えています。

結石ができる原因は、医学の発達した現在でも十分に解明されていませんが、かたよった食生活が原因の一つとして考えられています。尿路結石は誰もがかかり得る病気で、決して他人事ではありません。バランスのとれた食生活に改善することや、水分を1日2リットル以上とおしっこの濃度を薄くするなどの生活習慣の改善で石をできにくくすることができます。

### 尿路結石の治療法

5ミリ以下の小さい石であれば、水をたくさん飲

## 「アルコールと肝臓」



市立長浜病院  
消化器科  
中村博式先生

アルコールの飲み過ぎで起こる病気はいろいろあります。特に肝臓については、お酒を大量に飲み続けていると悪くすることは既にご承知のことと思います。アルコールが体内に入ると肝臓はそ